大阪城

2021/12/13(月)14221号

金港湾西成分会

ごんわ 6647-4947

今年も2週間少しになったが、オミクロンとかデルタ型とか、コロナウイルスが、感染者数の発表が少なくなっているとはいえ、再拡大の不安があり、いつもの年末の気分ではないようにみえる。

社会も、東京国会(12/6〜12/21)を横目に見ながら、新しい世界と日本へ変化に対応していこうとしているようにみえる。デフレからインフレへの転換、物価がいろんな物が上りはじめている。年が明けると値上げラッシュの大流がおそってきそうである。アメリカも、特にそのようで、それを抑制するための金利を上げる策をとるようで、それは、日本をはじめ、今までの経済の流れを根本から大きく変えていきそうです。岸田政権が「新しい資本主義」とか、「分配を」とか、「賃上げした企業は税金をまけてやる」とかいろいろ言ってはいるが、社会はそんな発言で、どうなるものではなく、変化をとげていきそうです。そもそも、社会の土台である地球が温暖化、海水温の上昇、北中の目に見えない微生物の死滅、生態系の変化、コロナウイルスなどの登場、火山、地震の多発と、地球そのものが変化している。アメリカの12/10コロナの死者スノ3人(計)79万6762人の死者コロナ敗戦です。

吹奏楽の名指導者、丸谷明夫さん死去

朝日新聞 DIGITAL

全日本吹奏楽連盟の前理事長 丸谷明夫さん

吹奏楽の名指導者として知られ、全日本吹奏楽連盟の理事長も務めた丸谷明夫さんが7日、膵（すい）頭部がんで死去した。76歳だった。　滋賀県生まれ。1964年に大阪府立淀川工業高（現淀川工科高）の実習助手となり、吹奏楽部顧問に。情熱的な指導に加え、親交のあった世界的指揮者の朝比奈隆さんや佐渡裕さんらに指導を依頼するなどして、同校を全日本吹奏楽コンクールに41回出場、32回金賞受賞という全国屈指の実力校へと育てあげた。「丸ちゃん」の愛称で広く親しまれ、テレビ番組で特集され、2005年の阪神タイガースの優勝記念パレードでも指揮を務めるなど、吹奏楽の枠を超えて関西の音楽文化の顔であり続けた。全国高校野球選手権大会の開会式でもタクトをとった。

朝日新聞社

ここ30年近く。毎年秋になると西成労働福祉選センター主催の「たそがれコンサートに淀川工科高校吹奏学部の生徒を連れて演奏してくれました。みんな楽しみにしていたので残念なことです。冥福をいのります。